

はーもにい No.29

富士小校区だより

「はーもにい」

2025年12月

発行:富士小校区まちづくり

推進協議会

編集:広報部



秋祭り Photo 集



▶ 10月12日日曜日、メインの会場は富士小グラウンド。「富士中の吹奏楽や富士小の演舞」それと「よさこいソーランのたまてばこ」。今年は「幼稚園のお遊戯」も!「キッチンカー」や「模擬店」ももり沢山。オカリナやジャズも! 抽選会では「やった!」の声も。子供たちからは「楽しかった!」との声がいっぱい!



富士小校区
だより

11/3 フラワータウン最大の祭り「フラワータウンフェスタ」
に富士小校区の「ささえあいふじ」がフリマ出店



➤富士が丘の高齢者生活支援ボランティア団体「ささえあいふじ」が、バザー(フリーマーケット)を出店し、生活雑貨を安く販売しました。

➤ 天候にも恵まれ、多くの皆さんが立ち寄っていらっしゃいました。

12/6 ふれあい“クリスマス会”



12月6日、ふじがおかコミセン
★ミニコンサート
★ゲームでけいひんゲット！
★大ちゅうせん会
★サンタさんもきたよ！
主催: ふれあい活動推進協議会



富士小校区の団体活動だより 民生委員・フラワー地域包括支援センター

コーパフェスタ【子ども対象 * 認知症啓発ゲーム】 ハロウィンかぼちゃを探せ！



【ハロウィンかぼちゃをさがせ】は普段認知症に触れることが少ない世代に、楽しみながら緩く啓発し「認知症」という言葉を知ってもらうことを趣旨としたゲームです。

10月26日にコーパフェスタでのイベントとして開催。

未就学児～小学生、親子連れ 計 66 名組が参加しました。手順は①ハロウィンかぼちゃ役 6 名が目印を付け、店内・店外を周回する。

② 子ども・親子がハロウィンかぼちゃ役を見つけ「こんにちは〇〇さんですか？」と挨拶をする。(その時に守るルールは：正面から・笑顔で・目線を合わせて・優しく・ゆっくりと)

③ 「上手に声かけできたね！」スタンプを押してもらう。

④ スタンプを全部集めると、「に・ん・ち・し・ょ・う」という言葉になる。

また、ゴール地点で紙コップを使って認知症の人の視界を体験してもらう要素を追加しました。参加者からは「恥ずかしかったけど、頑張って挨拶できた！」との声も。

当日のスタッフは民生委員(5名)＋民生協力員(4名)＋フラワー地域包括支援センター(3名)



目印



スタート！ スタンプ用紙をもらって ゲームのルールを聞くよ



ゴール！ 紙コップで 認知症の人の 見え方を体験するよ



まち協・構成団体懇談会

9月15日（月・祝）に「まち協構成団体の懇談会」が開催されました。昨年度から、フランクに困りごとや相談事を話し合うために「懇談会」を行いました。

5月の全体会議の模様



まち協前田会長代行から

今日の懇談会にご参加の皆さんに、二つご討議をお願いしたい。一つは地域の交通手段である「富士グルグル」について。先行し実行された武庫が丘のまち協会長の山下さんにお越しいただいて、お話を伺います。もう一つは、各団体共通の悩みである後継者問題です。

校区には多くの団体があるが、それぞれの団体がそれぞれ行事やっている。集中的にやればイベントは効率的にできるのでは、という意見あり。弥生が丘は、自治会やまち協、「一体でやっていて、決め事はもめません」という。そういうようなことが富士が丘でできないだろうか。また、一緒にできそうなことがあれば一緒にやれないと。ご討議いただきたい。

● 参加者からの意見など（敬称略）

「武庫グルグル」については「はーもにい」9月号で紹介しました。後継者問題についての、主なご発言は次のとおり：

一坪（老人会会長）：老人会の会員増えていない。募集は特にやっていない。30名以上集まるとかえって運営が難しい。第3月曜日に老人会の集まりやっている。

今井（寺子屋代表）：富士と弥生の方々、大学生の方にも就職に有利とかで、講師引き受けてくれる。「はーもにい」で講師募集の宣伝をしたことが効いた。「地域デビューしたい」という方など集まった。お互い良かったと思う。現在講師は7名 + αでやっていてちょうどいい。後継者も大丈夫そうだ。

大久保（ふれあい協代表）：今年が3年目。まだ後継者を考える余裕ない。口コミが有用か。皆さん良くやってくれている。

菅原（民生委員・児童委員代表）：3年ごとに改選があり、ひとり欠けると入ってこない。なり手がないのが実情。民生委員の年齢制限は75歳まで。無理はせずにボチボチがいい。

斎藤（にっこりふじ）：毎週コンスタントに15名前後の人気が来て頂いている。「ふじっこ」は夏季教室開いたが今年はえらく少なかった。働きでいるお母さんが子供を「一人で出すことの不安と、帰って来た時に誰もいない」のが不安なのかとおもう。現在60代と70名3名で対応、後継者はいない。

山口（富士が丘サークル）：メンバーは12～3名。一本釣りで集めている。事業の継続はメンバーがいないとできない。

山口（防災部会）：富士が丘の防災では、リーダーとなる方が少ないが、今年2名の方に「防災リーダー講習」に参加していただいた。

仲（富士小PTA会長）：PTAも縮小傾向にある。かつては1年かけて次の会長を勧誘する作業をやってきたが、この代から「くじ引きで全役員を」決めている。

衣笠（事務局長）：当初、「ふれあい協」とか「まち協」とか「体振」とか、複数の団体がウォーキングをやっていたが、一緒にできないかと考えていた。高齢者のイベント、子どものイベント、例えばPTAと一緒にやれば企画側の人数も半分ができるのでは。

コミセンサロンfuji文化教室で「三田の歴史講座」

★2月13日(金)10時 清和源氏と三田

★3月13日(金)10時 福沢諭吉と三田九鬼藩

★申し込み不要、参加費200円コーヒーつきますよ。



11月8日の「ふれあい野外コンサート」のようすです。

- ◆ 詳細はポータルサイトやチラシなどをご参照ください。
- ◆ 主催：富士が丘魅力あるまちづくりサークル

編集後記

この号では、秋祭りなどの他、フラワータウンフェスタ、認知症啓発活動などを取り上げてみました。雰囲気を味わっていただければ幸いです。「はーもにい」は富士小校区の住民とまち協構成団体のための広報誌ですから、行事や街のトピックスがありましたら、ぜひ「写真を添えて」まち協事務局気付け広報部まで、お寄せください。（HS）

富士小校区まちづくり推進協議会事務局

〒669-1547三田市富士が丘2-18 コミセン内

電話：079-550-1016

富士が丘ポータルサイト：<https://sanda-fujigaoka.com/>

「はーもにい」編集責任者：まち協広報部長

メール：fujimachikyo20140511@hera.eonet.ne.jp

